

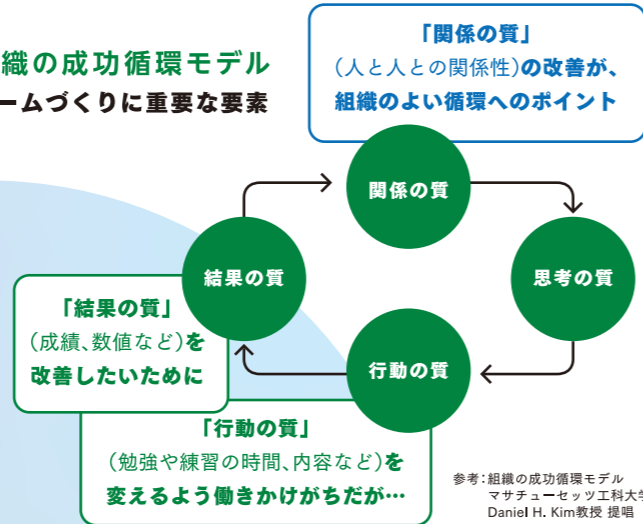
私たちがチームでの学びを教育の中心に据えている **理由**

Reason

1] 学生が互いに刺激しあうために

大学は多様な人が集まり、共に学び合う学習共同体。神戸常盤大学では、「組織やチームをよくするには(個に直接働きかけるだけでなく)人と人との関係性に焦点をあて、その質の変化を促すことで、集団全体の活性化を図り、個々の成長をもたらす」との考えに基づき、チームでの学びあいを重視しています。学生のモチベーションを刺激したい時、「クラス」「ゼミ」「チーム」といった集団内の人と人との関係性に働きかけ、個のモチベーションの向上を促します。

組織の成功循環モデル
チームづくりに重要な要素

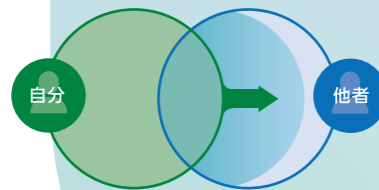


チームビルディングの3要素

- 自己理解
- 相互理解
- 目標統合

フィードバック

他者認知を取り込む(=他者から見える自分に出会う)ことで、自己理解を深めることができる。



2] 自分の持ち味や能力を発揮するために

自分をより深く理解し、チームメンバーと相互理解を深め、目標を統合し、目標達成のために力を合わせていくこのプロセスは、「チームビルディング」と呼ばれています。神戸常盤大学の入学前教育「1stステッププログラム」～初年次教育「まなぶる」はチームビルディングを体験できるプログラムになっており、各人のコミュニケーションの特徴やリーダーシップ(=対人影響力)についての気づきが体験的に得られます。

3] 自ら考え行動する人を育てるために

「自己決定理論」によれば、人は「自律性」「有能感」「関係性」への欲求が満たされたときに自発的に行動するとされています。神戸常盤大学では、入学前教育～初年次教育「まなぶる」で、この3要素に対して、チームビルディングプログラムと教員のファシリテーションの力で同時的・集団的にアプローチ。「自分で決められない」「自分に自信がない」といった学生の不安を払拭し、自己肯定感を高め、学びや将来への動機づけを強化します。



高校教員 対象

入学前教育 1stステッププログラム

- step 1 二次元バーコードを読み込む
- step 2 申込みフォームに必要事項を入力
- step 3 Web見学会のURLが届く
- step 4 URLにアクセスして見学

- POINT1 (使用デバイス)PC・スマホともアクセス可能です。
- POINT2 (フリー見学可能)全グループの様子を制限なくご覧いただけます。
- POINT3 (申込み特典)当日見学できない場合は後日、記録動画を配信します。

Web見学会予約 受付中!
事前申し込み制、途中入退室可

ご予約はこちらから



※読み込めない場合は、
お電話(078-611-1821)にて
お申し込みください。

高校教育現場に活かせる

「ときわ流」教授法をオンライン公開

神戸常盤大学では、「チームで学び合う」に重きを置くプログラムで学生のやる気を引き出す教育を実践しています。この度、本学独自の入学前教育をオンラインで公開。「ときわ流」のエッセンスをご覧いただき、高校教育現場にもぜひご活用ください。

12月23日(土)

入学前教育
1stステッププログラム
Web見学会
後日動画配信あり

高校教員対象



学校法人玉田学園
神戸常盤大学

〒653-0838 兵庫県神戸市長田区大谷町2-6-2 (Tel)078-611-1821 (Fax)078-643-4361
https://www.kobe-tokiwa.ac.jp/univ/
【保健科学部】医療検査学科/診療放射線学科/口腔保健学科/看護学科【教育学部】こども教育学科



学校法人玉田学園
神戸常盤大学



やる気が高まる
授業のつくり方。

入学前教育から初年次教育へのスムーズな接続(リエゾン・モデル)が

神戸常盤大学の教育の核となる

学びの動機づけにつながります。

study

専門教育分野

コミュニケーション能力や
協調性を兼ね備えた
専門職業人として活躍

- チームの一員として考えて行動できる。
- 他職種を敬意をもって理解し、連携できる。
- 自律的かつ主体的に学び続けられる。
- チームの中でリーダーシップを発揮できる。

専門性を高め、
国家資格取得を目指す

学科	取得できる資格	目指せる進路
医療検査学科	●臨床検査技師<国>受験資格 ●細胞検査士受験資格 ●第一種衛生管理者<国>	●臨床検査技師 ●細胞検査士
診療放射線学科	●診療放射線技師<国>受験資格	●診療放射線技師
口腔保健学科	●歯科衛生士<国>受験資格	●歯科衛生士
看護学科	●看護師<国>受験資格 ●保健師<国>受験資格※選択・選抜 ●養護教諭一種免許状<国>※選択	●看護師 ●保健師 ●養護教諭
こども教育学科	[保育・幼児教育コース] ●保育士<国> ●幼稚園教諭一種免許状<国>	●保育士 ●幼稚園教諭
	[義務教育コース] ●小学校教諭一種免許状<国> ●中学校教諭一種免許状(理科)<国>	●小学校教諭 ●中学校教諭(理科)

university

基盤教育分野

初年次教育科目「まなぶる」ときわびとI・II」

5学科合同で行う全学共通の基盤教育分野の初年次教育科目。他学科の学生とチームをつくり、さまざまなワークを通して「大学での学び方」を学修。学びのモチベーションを高めると共に、社会で必要となるさまざまなコンピテンシーを身につけます。



1年前期「まなぶる」ときわびとI (2コマ×15週=30コマ)

週(2コマ)	テーマ	サブテーマ
1~4	チームビルディング	他者を介した自己理解
5~14	ロジカルコミュニケーション※	書くことから養う/読むことから養う/論理的・批判的・視覚的に考える/論理的な議論を実践する/論理的に「伝える」
15		まとめと振り返り

※情報を正しく受け入れ、自らの考えを説得性(根拠)をもって共有・発信する力

1年後期「まなぶる」ときわびとII (2コマ×7.5週=15コマ)

週(2コマ)	テーマ	サブテーマ
1~2	チームビルディング	他者を介した自己理解
3~8	教え合い・励まし合い=学び合い※1による(計画的学習)	●教材はSPI※2●学修計画表の作成と振り返り●事前/事後学修が前提●毎週協働学習やSPIの意味を問うグループワークを実施●まなぶるIIのまとめと振り返り※分からない場合はチーム内に止まらずクラスで教え合うようにしています。

※1 計画的学修+学び合い=学修の効率化

※2 教材としてのSPI=数理解ラシャー・リメディアル・就職へ向けて

high school



入学前教育

Web見学会予約 受付中!

入学前教育「1stステッププログラム」

年内に行われる入試の合格者を対象に入学前教育としてオンラインワークショップを実施。在学生・教員と接点を持つことが、高校生にとっては不安解消や学習へのモチベーションアップの機会となります。

- 入学前教育の受講前後で大学生活や授業への不安度を比較すると有意に軽減。
- 事後で「大学生活への準備として実行すること」を問うと約6割が「学習」に関することを回答。事前アンケートでは「高校の復習をする」といった漠然とした回答だったものが、「物理の基礎知識を振り返る」「毎日勉強する習慣を身につける」など具体的な回答へと変化。

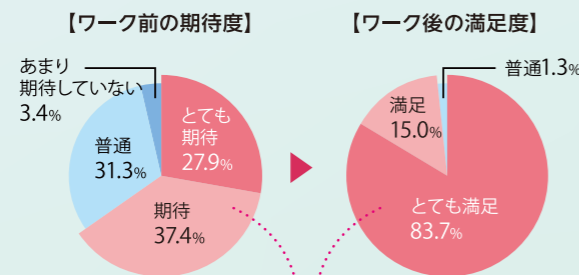
ねらい

- 入学意欲の喚起
- 不安の軽減
- 学びの動機づけ

プログラム

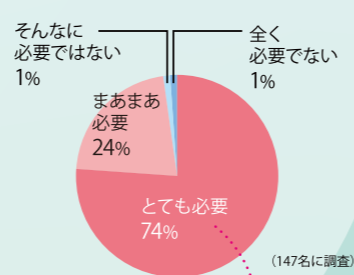
- 09:30 オリエンテーション
- ①ネームプレート作成
 - ②グループ作り
 - ③コミュニケーション実習1・2
- 昼食
- ④先輩の話
 - ⑤先輩・先生インタビュー
 - ⑥まとめ
- 15:30 終了

入学前プログラムへの期待度と満足度



入学前の緊張や不安がワークを経て解消され期待を上回る満足度がある。

入学前教育の必要性について



参加者のほぼすべてが、必要性を感じている。新入生にも勧めたいとコメント。

神戸常盤大学 高大接続プログラムの ポイント

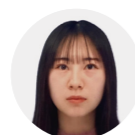


対人交流により自己理解・他者理解を深め、仲間との相互作用で集団を活性化。他学科学生との交流で多様な価値観に触れて視野を広げることが、職業観の醸成にも寄与しています。その結果、「まなぶる」ときわびと」は初年次教育学会で「2021年度教育実践賞」優秀賞を受賞しています。

リエゾン・モデル 体験談

多様な意見に刺激を受けて

「まなぶる」では生活上の課題を取り上げ、学生が中心となって課題解決に取り組みます。さまざまな人の話を聞くことで、自分一人では思いつけない意見を共有でき、よりよいアイデアが生まれるのを実感します。ここで身につけた自分の意思や意見をわかりやすく伝える工夫は、講義中での意見交換に活かすことができました。



看護学科1年
大塚 唯世さん
兵庫県
姫路市立飾磨高等学校出身

人間関係の輪が広がる

他学科の人とグループを組み、同じ学科の人がいない環境で授業を受けるのは新鮮です。友達の輪も広がり、グループ活動への苦手意識も払拭できました。学科の講義でグループディスカッションをする時も、自分の意見を感情的に伝えるのではなく、人の意見を聞いたうえで論理的に伝えられるようになりました。



口腔保健学科2年
山本 美咲さん
兵庫県
出石高等学校出身

人と関わる専門職に必要な学び

相手の話を聞いて受け入れることの重要性を実感。相手の立場になって物事を考えることで、問題解決までの時間が早くなり、みんなが満足する答えを導くことができるようになりました。自分の考え方を俯瞰できるようになり、人と向き合う職業を目指している私たちにとって大切なことを学ぶよききっかけになっています。



こども教育学科2年
風 優輝さん
兵庫県
神戸高専高等学校出身

教員メッセージ

チームで協働する力を身につけるために

教育学部
こども教育学科
京極 重智先生

私たちの社会は、ありとあらゆる場面をチームで取り組む活動に見立てることができます。「まなぶる」では、チーム単位で考えることを重視。最初は活動が滞っていても、自己と他者の気づきをわかち合うことで、最終的には非常に良いパフォーマンスを見せるチームになっていくのです。この経験が、学生各々が将来医療や教育の専門職に就いてからも効果的に働くことを期待しています。

